

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・松魚亭

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：山岸与作 幹事：上田忠信

情報委員長：中村三次

1982・11月4日 第227号

ガバナー所感



国際ロータリー第261地区ガバナー
館 金 吾 氏

アメリカでの国際協議会に参加し、ガバナーとしての教育研修を受け、6月12日成田の土をふんだ時、あじさいの花が見事に咲く日本の平和な状態に接し、何という有難い国か、何という豊かさに満ちた国かと感じた。そして、ロータリアンといえども、一日本人として、高い視点から、グローバルな視野で物事を考えなければならぬと思った。

我々の父祖は、明治以来、昭和の初期に至るまで、日本の近代化につとめ、堂々と貧乏国家の為に働いて来た。満州事変以後はともかくとして、明治初年以來の父祖の行動すべてが、あやまちであり、帝国主義的發展であるという、今日の大報道の風潮はどうかと思う。私は、ロータリアンであると同時に一日本人として日本の未来に大きな期待を持っているものである。

日本は内外において、転換期に直面しているが、国際社会において経済大国に似つかわしい責任を果しているでしょうか。我々国際ロータリーは、この転換期において、157ヶ国に広がる世界的な横の連帯を強くかため、世界の安定、人類共通の悲願である平和へと目指さねばならない。

当金沢北RCは浅野川以北の広大なテリトリーを持っているが、人口数にふさわしい会員数に發展され、一人でも多く、ロータリーの理想をこの地域社会にわかち合い、産業、経済、学術等あらゆる面における發展のために不可欠な存在として、より良い社会のための友情の橋をかけて貰いたい。

向笠現会長は「人類は一つ、人間は全部従兄弟である」と講演され、前会長は「ロータリーを通じて世界の理解と平和」と主張されました。しかし、現実の世界は、我々の求める理想とはかなりへだたりがある。それ故にこそ国際ロータリーは国際理解をすすめる活動を推進し、我々もこれに参加している。

金沢城北地域社会と、世界の各地域社会とは、ロータリー活動を通じて、国際理解が發展し、横のつながりが生じます。例会その他の活動を通じ、己の生涯教育につとめると共に、地域社会に貢献するロータリーの使命感と情熱を天下に闡明していただきたい。

—金沢北RCガバナー公式訪問講話より要約— (文責 中村三次)

洛北RCさんに敬意を表し感謝して

◇すばらしい陽明文庫の名宝展とお茶席◇

柴田 三郎



“陽明文庫、の拝観は、一言にして表現するなら、まさに「驚嘆の感慨」と言う他はない。併せて、お茶席における豪華なる逸品の数々を、直かに目にし、手にしつつ、この道に疎遠なる私ですら、恍惚、そして手のふるえのを覚え、改めて、洛北ロータリークラブの品格に敬意を捧げ、当クラブへの厚い友好に深く謝意を表して止まない。而して、昭和57年10月3日の、この感激は私どもには終生忘れられないであろう歓喜となった。

陽明文庫は……旧公爵、近衛家に、藤原鎌足以来 1,300年の長きにわたって伝襲した、大量の故書や古典籍、ならびに古美術工芸品などを保存管理している、特種な図書であり美術館である。京都の洛西、嵯峨野に遠からず、御室、仁和寺に近い幽境に、その施設を構えている。国宝8件、重要文化財49件などを含む20万点に垂んとするものが、この文庫に納められていると言う。この内、この日、洛北RCのために、特別展示されたものは次の通りであり、並々ならぬ配慮がうかがわれる。

なお、この文庫に隣接した広い庭園の中に“虎山荘、があり、お茶席はここで催された。聞くところによると、終戦の直前、近衛文麿氏を中心に重要会談が、人里はなれた、この虎山荘で行われた……と言うことである。

◇国宝 御堂関白記……藤原道長の自筆による日記（平安時代）

- ” 和 漢 抄……伝、藤原行成筆の朗詠集（平安時代）
- ” 大 手 鑑……近衛家第21代家熙の蒐集によるもの（奈良～室町時代）
- ” 熊 野 懐 紙……後鳥羽天皇宸翰（鎌倉時代）
- ” 熊 野 懐 紙……藤原家隆筆（鎌倉時代）
- ” 熊 野 懐 紙……僧寂蓮筆（鎌倉時代）

◇重要文化財 春日鹿曼茶羅図（鎌倉時代）

- ” 藤原忠通消息（平安時代）
- ” 源家長消息（平安時代）
- ” 後鳥羽天皇仮名消息（鎌倉時代）
- ” 御醍醐天皇仮名消息（南北朝時代）
- ” 砧青磁鳳凰耳花生、銘“千鳥、
（宋時代）

◇重美 蒔絵伽羅笥“物かは、（室町時代）

その他10数点の逸品がならぶ偉観であったが、私の時間的制約があって、残念ながら十分に鑑賞出来なかったのは心残りであった。



お茶席……本席（虎山荘）

担当 山下恵光宗匠（洛北RC会員）

表千家家元教授

- ◇掛物……本阿弥光悦消息
- ◇書院に……光悦「舟橋硯筥」(写)
- ◇風炉……唐金紅鉢 五郎左衛門作
- ◇茶器……宗旦黒大棗 覚々斎直書、如心斎箱替 ……仁清作 平雁の絵
- ◇茶杓……古田織部作 筒、覚々斎
- ◇蓋置……竹引切
- ◇菓子……初雁（松屋常盤製）
- ◇花入……唐物手付籠
- ◇釜 ……光悦好 月地紋四方 浄味作
- ◇水指……空中信楽丸紋
- ◇茶盤……光悦手造 白釉筒 緑々斎箱替 ……乾山作 秋草の絵



- ◇建水……唐金 棒の先
- ◇菓子器……光悦好 雑器盆
- ◇御茶……珠の白

お茶席……野点席（虎山荘庭） 担当 土本宗丘宗匠（洛北RC会員）裏千家家元教授

- ◇床 ……淡々斎筆 松茸絵賛色紙
- ◇香合……桐木地 鳴子、秀富造
- ◇釜 ……芦屋切合
- ◇火箸……桐ノ実頭
- ◇茶杓……鵬雲斎家元作 銘、清遊 狩野尚信、雁の絵
- ◇煙草盆……桑手付
- ◇菓子……焼栗
- ◇花入……砧籠
- ◇風炉……唐銅鬼面
- ◇皆具……交趾銀杏唐草 善五郎作
- ◇茶器……玄々斎好 徳風棗 八代宗哲造
- ◇茶盤……又玄斎一燈 手造赤
- ◇替 ……御本 銘、山里 淡々斎書付
- ◇火入……絵唐津
- ◇菓子器……唐物輪花盆

参加者 小杉守男夫妻、俵夫妻、釣見夫妻、宗田夫妻、若野夫妻、沢田夫妻、中村三次夫妻、柴田夫妻、越野夫人、岡田夫人、土原夫人、小杉善二夫人

今週の花

吉山宥海
(10月28日)

大山^{ほくち}火口
万作照葉
大文字草
御山^{りんどう}竜胆
こん菊



